

中小企業庁「はばたく300社」 各務原市の2社選出



表彰状を手にする鷺崎純一社長(左)と
鷺崎圭一朗取締役。各務原市上戸町、
スザキ工業所



電気自動車の前で表彰状を持つ津田
義久社長。各務原市金属団地、津田
工業

スザキ工業所

事業変革や新規事業に挑
戦する中小企業をたたえる
中小企業庁の「はばたく中
小企業・小規模事業者30
0社」に、自動車部品など
の金属プレス加工「スザキ
工業所」(各務原市上戸町)と
板金加工「津田工業」(同

市金属団地)が選ばれた。
スザキ工業所はデジタル
トランスフォーメーション
(DX)分野で受賞。20
23年から、指紋認証によ
る勤怠管理システムを導入
するなど事務業務のDX化
を進めて、残業時間を削減

津田工業

製造面では人工知能(AI)
を活用して生産計画を策定
するほか、協働ロボットシ
ステムを導入して部品の箱
詰めや機械へのセットとい
った工程を段階的にロボッ
トに置き換えている。
製造に関するDX化を担

温室効果ガス削減の国際
認証「SBT」を取得した。
廃材をエネルギーにした
まきストーブを使用し、電
気自動車(EV)も導入す
る。

従業員は5人で「小規模
な企業にもできる」と津田
義久社長(57)。使用したエ
ネルギー量をグラフにし掲
示しており「ゲーム感覚で
意外と減らせる。受賞企業
に恥じない脱炭素の試みを
続けたい」と語った。
はばたく300社は14年
度に始まり、21年度以降は
隔年開催されている。両社
は25年度の選出。これで市
内の受賞は17社となった。
(野田祐治)

津田工業は脱炭素に取り
組むGX(グリーントラン
スフォーメーション)分野
が評価された。溶接や塗装
をしない工法に切り替えて
製品のコンパクト化で輸
送コストを大きく削減した
ことや、廃材の活用などで
脱炭素を加速。23年には